

発明の名称: ポリマーステント

利用・用途・応用分野

無料開放特許

心筋梗塞や脳梗塞など血管の疾患による病気の手術・治療

目的・課題

ラチェット機構により筒状形状を維持するポリマーステントは、形状・構造を簡易にし、加工・製作を容易にするとともにステントの拡張動作により摩擦力でラチェット機構部が変形し、機能が損なわれないようにすることが求められていた。

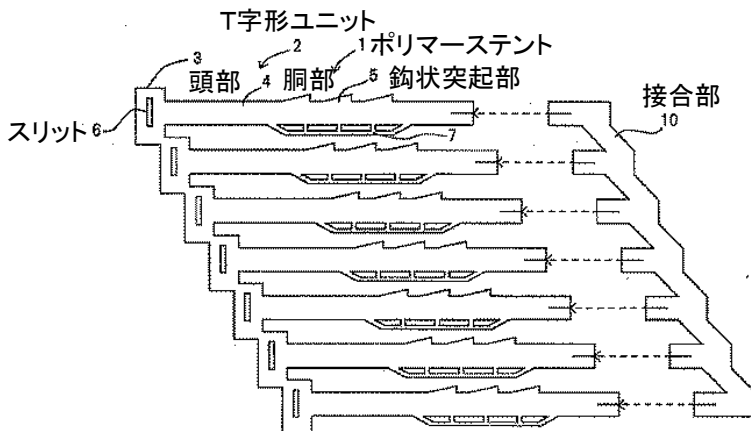
解決ポイント

頭部と該頭部から延設される細長い胴部からなるT字形ユニット部を複数個並設し、頭部で相互に連結されるように一体的に形成し、各々の胴部を丸めて頭部に形成されたスリットに挿入係止してリング形状にし、全体として筒状にした状態で管腔内に留置されるポリマーステントである。

研究概要・アピールポイント

各ユニット部の胴部の長辺の一方の側に斜辺部分と直立辺部分とを有する鉤状突起部が形成され、頭部には胴部の長さ方向に垂直な方向のスリットが形成される。胴部の鉤状突起部が形成されない側に幅可変部を形成するか、頭部におけるスリットの端側、スリットの傾斜角度を弾性的に変化させて、胴部を丸めてスリットに挿入しリング部を形成した時に、リング形状を縮径する方向への胴部の移動が係止され、リング形状を拡張する方向への胴部の移動を可能にする。これにより胴部の確実な移動と係止が可能になる。

【胴部に幅可変部を設けたポリマーステント展開図】



◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティー・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail: tlojim@yamaguchi-u.ac.jp